



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社メディカルネット 上場取引所 東
 コード番号 3645 URL https://www.medical-net.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 平川 大
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部シニアマネージャー (氏名) 三宅 大祐 TEL (03)5790-5261
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	1,592	10.4	180	173.3	181	166.8	65	50.9
2020年5月期第2四半期	1,442	81.4	65	△9.5	68	△13.1	43	37.3

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 69百万円 (46.7%) 2020年5月期第2四半期 47百万円 (45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	15.73	—
2020年5月期第2四半期	9.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	2,069	1,190	56.9
2020年5月期	1,736	1,006	57.4

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 1,177百万円 2020年5月期 996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 2021年5月期期末配当金の内訳 記念配当 3.00円 普通配当 5.00円

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,209	10.0	300	182.1	250 ～300	140.4 188.5	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Pacific Dental Care Co., Ltd.、除外 1社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期2Q	5,386,500株	2020年5月期	5,386,500株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	1,077,715株	2020年5月期	1,346,215株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期2Q	4,134,187株	2020年5月期2Q	4,533,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2021年1月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当日にTDnet及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度第4四半期より発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大小様々な影響による国内景気の停滞や落ち込み、不安定かつ先が見通しづらい国際経済、また香港問題を契機とする米国、中国間におけるさらなる経済リスクなどにより、先行きが不透明な状況にあります。

広告業界におきましては、2019年の広告市場の総広告費及び当社グループが関連するインターネット広告市場における広告費は、共に増加傾向にありました。広告市場の総広告費は、6兆9,381億円（前年比6.2%増）、インターネット広告市場における広告費は、2兆1,048億円（前年比19.7%増）となりました（株式会社電通「2019年日本の広告費」）。

また、当社グループが属しておりますインターネット附随サービス業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高が前年を上回る水準で推移しております（経済産業省「特定サービス産業動態統計月報（2020年10月分）」）。

一方、当社グループの事業領域である歯科市場においては、歯科診療医療費が3兆286億円（前年比1.9%増 厚生労働省「令和元年度 医療費の動向」）、歯科診療所は68,148施設（厚生労働省「医療施設動態調査（令和2年10月末概数）」）となり、インプラントやホワイトニング等の自費診療の普及や口腔衛生意識の高まりもあったものの、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争の進展に加え、新型コロナウイルス感染拡大により厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、基幹事業であるメディア・プラットフォーム事業の効率化を押し進めると共に顧客満足度の向上を図るためスマートフォン広告の拡充、新たなサービス構築に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,592,458千円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は180,163千円（前年同四半期比173.3%増）、経常利益は181,968千円（前年同四半期比166.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65,039千円（前年同四半期比50.9%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① メディア・プラットフォーム事業

当社グループの基幹事業であるメディア・プラットフォーム事業においては、歯科分野、美容・エステ分野に特化したポータルサイトを運営しております。当事業が関連するインターネット広告市場における広告費は2兆1,048億円（前年比19.7%増）と拡大基調にあるものの（株式会社電通「2019年日本の広告費」）、歯科分野では、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争の進展により厳しい状況が続きました。

こうしたなか、歯科分野においては、Googleのアルゴリズムの変動の影響への対応が進み、主力サイトの「矯正歯科ネット」の売上高が前年同四半期比10.6%増、「インプラントネット」の売上高が前年同四半期比3.8%増となるなど回復の兆しを見せております。

美容・エステ分野では、2019年のエステティックサロン総市場規模は3,602億円（前年比0.3%増）と微増推移となったものの、物販分野の伸長によるものであり、従来施術の販売状況に物販は連動するとされてきましたが、2019年度は必ずしもそうではなく厳しい状況が続きました（株式会社矢野経済研究所「2020年版 エステティックサロンマーケティング総鑑」）。

こうしたなか、美容整形専門サイト「気になる！美容整形・総合ランキング」、エステ専門サイト「エステ・人気ランキング」等のポータルサイトの収益化を目指しました。また、当社グループが運営する各ポータルサイトの認知度の向上を図ると共に引き続きスマートフォン広告の拡充を進め、新たなサービスの提供を実現するための体制を整備してまいりましたが、美容・エステ分野においてはポータルサイトへの広告出稿につきましては厳しい状況が続いております。そのようななか、「気になる！美容整形・総合ランキング」の売上高は前年同四半期比8.5%増、「エステ・人気ランキング」は大型の広告出稿を獲得したことにより同51.9%増となるなど前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は429,522千円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は291,232千円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

② 医療機関経営支援事業

医療機関経営支援事業においては、SEM及び事業者向けホームページ制作・メンテナンスのサービスの提供や、他社Web商材・リアル商材の販売代理、歯科医院の開業支援、経営支援及びタイにおいて歯科医院経営を行っております。また、連結子会社の株式会社オカムラにおいて、歯科医院向けに歯科器械材料・医薬品の卸売を行っております。

SEMサービスにおいては、2019年もインターネット広告媒体費は好調に推移いたしました。このうち、運用型広告市場規模は、大型プラットフォームを中心に高成長となり1兆3,267億円（前年比15.2%増）となりました（株式会社電通「2019年日本の広告費」）。

こうしたなか、当社におきましては運用型広告へのシフトが進んだことによる市場規模の拡大の影響を受け、リスティング広告運用代行サービスのクライアント数が増加したことや、提供するサービスの多様化により売上高が増加いたしました。また、SEOサービスにおいても、複数キーワードへの対策結果を短期的に求めることが難しい仕組みへと変化したことにより、比較的効果の現れやすい検索連動広告をSEO対策に代わる手法として求めるクライアントが増えております。そのようななか、Googleなどの検索エンジンで利用されているアルゴリズム（検索キーワードに対して最適なページを判定するための処理手順）への対応が進み、クライアントのサイトの検索順位を回復させることにより売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

事業者向けホームページ制作・メンテナンスサービスにおいては、インターネット広告制作費は3,354億円（前年比7.9%増）となり（株式会社電通「2019年日本の広告費」）、ワンストップソリューションサービスの一環である事業者向けホームページ制作・メンテナンスは制作案件の受注が堅調に推移し、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

販売代理においては、当社独自のサービスと関連性のある他社Web商材・歯科医療機器・材料の販売及び歯科医院経営支援サービスの営業活動が新型コロナウイルスの感染拡大により制約を受けたことなどにより、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

歯科医院経営においては、連結子会社のMedical Net Thailand Co., Ltd.において、タイ・バンコクで歯科医院（ゆたかデンタルクリニック）を運営しております。在バンコクの日系企業へ積極的に検診実施の営業活動を行い、また、在バンコクの邦人コミュニティーへ積極的に働きかけることにより患者数の増加に努めた結果、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。また、当第2四半期連結会計期間よりPacific Dental Care Co., Ltd.を連結子会社（孫会社）化し、タイ・バンコクで2院目の歯科医院を運営しております。

歯科器械材料・医薬品の卸売においては、当第2四半期連結累計期間に歯科医院開業に伴う大型機器の販売があったことや、新型コロナウイルス感染予防の補助金の影響により関連機器の販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,113,001千円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益は35,173千円（前年同四半期は、セグメント損失4,899千円）となりました。

③ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供等、様々なサービスを提供しております。

前第3四半期連結会計期間の2020年2月1日付でブランネットワークス株式会社を吸収合併し、経営資源の有効活用、柔軟な人材配置による業務の効率化により、業績の拡大を図ってきた効果が出始め、新規顧客の獲得、大口案件を受注するなど好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48,754千円（前年同四半期比80.2%増）、セグメント利益は15,405千円（前年同四半期は、セグメント損失15,741千円）となりました。

④ その他

管理業務受託事業においては、経理、人事総務等の管理業務を受託し、サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,864千円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は1,864千円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,069,018千円となり、前連結会計年度末に比べ332,379千円（前連結会計年度末比19.1%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ332,379千円増（前連結会計年度末比19.1%増）の2,069,018千円となりました。これは主に、投資有価証券が24,734千円減少いたしましたが、現金及び預金が138,540千円、売掛金が65,128千円、長期前払費用が100,547千円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ148,414千円増（前連結会計年度末比20.3%増）の878,593千円となりました。これは主に、短期借入金が30,000千円減少いたしましたが、長期借入金が65,562千円、買掛金が48,258千円、未払法人税等が37,089千円、未払消費税等が20,621千円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ183,964千円増（前連結会計年度末比18.3%増）の1,190,424千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益65,039千円の計上と、剰余金配当6,060千円を行ったこと等により利益剰余金が増加したことに加え、自己株式が140,317千円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ147,919千円増加し、743,814千円（前連結会計年度末比24.8%増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は188,705千円（前年同四半期は15,234千円の資金の増加）となりました。これは売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上、仕入債務、未払消費税等が増加、投資有価証券評価損の計上があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は75,445千円（前年同四半期は3,099千円の資金の減少）となりました。これは定期預金の払戻、貸付金の回収による収入があったものの、子会社株式、有形固定資産、投資有価証券の取得による支出があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は35,434千円（前年同四半期は531,569千円の資金の減少）となりました。これは短期借入金の純減、長期借入金の返済による支出があったものの、長期借入金の収入があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年12月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	605,274	743,814
売掛金	441,680	506,809
商品	28,432	29,463
その他	154,335	177,155
貸倒引当金	△24,260	△24,146
流動資産合計	1,205,463	1,433,096
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	21,967	21,314
その他（純額）	16,192	17,606
有形固定資産合計	38,159	38,921
無形固定資産		
のれん	150,307	195,126
その他	17,286	16,557
無形固定資産合計	167,593	211,683
投資その他の資産		
投資有価証券	86,720	61,985
長期貸付金	54,619	52,957
繰延税金資産	31,419	22,461
その他	177,398	273,255
貸倒引当金	△24,736	△25,342
投資その他の資産合計	325,421	385,316
固定資産合計	531,174	635,921
資産合計	1,736,638	2,069,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,885	153,143
短期借入金	350,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	12,876	18,876
未払法人税等	18,462	55,552
賞与引当金	—	1,020
その他	190,924	216,129
流動負債合計	677,148	764,721
固定負債		
長期借入金	48,310	113,872
その他	4,720	—
固定負債合計	53,030	113,872
負債合計	730,178	878,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	233,785	233,785
利益剰余金	1,179,799	1,219,287
自己株式	△703,526	△563,209
株主資本合計	996,092	1,175,897
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	400	1,459
その他の包括利益累計額合計	400	1,459
非支配株主持分	9,966	13,067
純資産合計	1,006,459	1,190,424
負債純資産合計	1,736,638	2,069,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	1,442,406	1,592,458
売上原価	964,322	1,031,957
売上総利益	478,083	560,500
販売費及び一般管理費	412,156	380,337
営業利益	65,927	180,163
営業外収益		
受取利息及び配当金	330	249
未払配当金除斥益	99	175
為替差益	1,346	1,296
広告還元収入	—	451
保険解約返戻金	8,218	—
その他	259	708
営業外収益合計	10,254	2,880
営業外費用		
支払利息	967	1,075
支払手数料	6,958	—
その他	45	—
営業外費用合計	7,971	1,075
経常利益	68,210	181,968
特別損失		
投資有価証券評価損	—	54,734
特別損失合計	—	54,734
税金等調整前四半期純利益	68,210	127,233
法人税、住民税及び事業税	23,928	49,752
法人税等調整額	△1,082	8,958
法人税等合計	22,845	58,710
四半期純利益	45,365	68,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,273	3,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,092	65,039

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	45,365	68,522
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,815	677
その他の包括利益合計	1,815	677
四半期包括利益	47,180	69,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,469	66,106
非支配株主に係る四半期包括利益	2,711	3,093

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,210	127,233
減価償却費	6,460	5,211
のれん償却額	5,414	5,798
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,471	492
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	54,734
保険解約返戻金	△8,218	—
受取利息及び受取配当金	△330	△249
支払利息	967	1,075
売上債権の増減額 (△は増加)	△43,937	△65,128
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,193	△1,766
前払費用の増減額 (△は増加)	△10,026	4,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,450	47,099
未払金の増減額 (△は減少)	13,199	4,746
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,452	20,621
その他	△15,997	△1,176
小計	8,016	203,092
利息及び配当金の受取額	330	249
利息の支払額	△967	△1,075
法人税等の支払額	△364	△13,559
保険解約返戻金の受取額	8,218	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,234	188,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△722	—
定期預金の払戻による収入	4,948	9,379
有形固定資産の取得による支出	△7,413	△2,693
投資有価証券の取得による支出	—	△30,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△48,692
貸付金の回収による収入	4,042	3,362
その他	△3,954	△6,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,099	△75,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	△30,000
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△24,477	△8,438
自己株式の取得による支出	△796,461	—
配当金の支払額	△10,631	△6,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531,569	35,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	654	△774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△518,780	147,919
現金及び現金同等物の期首残高	1,028,954	595,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	510,174	743,814

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2020年8月28日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議し、これに基づいて2020年9月28日に自己株式268,500株の処分を実施いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が563,209千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年6月1日 至 2019年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム 事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	405,047	1,009,333	26,260	1,440,641	1,764	1,442,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	658	16	800	1,475	—	1,475
計	405,705	1,009,350	27,060	1,442,116	1,764	1,443,881
セグメント利益又は損失 (△)	281,486	△4,899	△15,741	260,846	1,764	262,610

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	260,846
「その他」の区分の利益	1,764
全社費用（注1）	△204,326
その他の調整額（注2）	7,642
四半期連結損益計算書の営業利益	65,927

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外
収益との消去によるものです。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2020年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム 事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	429,522	1,112,497	48,574	1,590,593	1,864	1,592,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	504	180	684	—	684
計	429,522	1,113,001	48,754	1,591,278	1,864	1,593,143
セグメント利益	291,232	35,173	15,405	341,810	1,864	343,675

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	341,810
「その他」の区分の利益	1,864
全社費用（注1）	△163,799
その他の調整額（注2）	288
四半期連結損益計算書の営業利益	180,163

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2020年10月30日付にて当社の連結子会社であるMedical Net Thailand Co., Ltd. がPacific Dental Care Co., Ltd. の全株式を取得し、同社を連結子会社（孫会社）化したことに伴い、医療機関経営支援事業セグメントにおいてのれんが49,975千円増加しております。